

■今年度も狂言師、外科医師、演芸作家、イラストレーターなど多方面から招聘！■

笑いを学ぶ授業「笑いは人をつなぐ」を実施

授業日：毎週水曜日 13:00～14:40

大阪樟蔭女子大学（大阪府東大阪市）では、全学科 2 年生以上を対象に「笑いは人をつなぐ」を開講しています。本講義は、本学客員教授で落語家の桂かい枝師のプロデュースによるもので、人を癒すチカラがある「笑い」をテーマに、心理学、マスコミ、医療、古典芸能（狂言・落語）、演芸、イラストレーターなどの分野において第一線で活躍する方々をお招きし、様々な視点から講義していただきます。

各分野を専門とする教員やゲストスピーカーによるリレー形式の講義、笑いと結びつきにくい分野でも実は深くかかわっている「笑い」の奥深さについて学び、人々を癒すことができる“内なる輝きを発する”人材の育成を目指します。

本件のポイント

- 各分野のスペシャリストが、さまざまな視点から笑いについて伝授
- “笑い”を学ぶことで豊かな知性と感性を身につけ、コミュニケーション力の高い人材の育成を目指す
- 授業の集大成として、学生による発表の場を用意

■「生涯にわたって美しく幸福な生活を送ること」を目的に笑いについて学ぶ

この授業では、それぞれ異なる様々な分野から第一人者をお招きし、“笑い”をテーマに講演、さらに＜好きなこと・ものを楽しく紹介する「漫才」を書いてみる＞と題して、受講学生に実演してもらい発表会もおこないます。毎年行われる学生の作品の中には、桂かい枝客員教授も唸るほどの力作も見られます。

① “笑い”を理解できる知性と感性を身につける

② 人を笑わせて話に引きつけるプレゼンテーションができるようになる

③ 人の要となるのに必要なコミュニケーション力や人間力を身につける

を目標設定することにより、本学の建学の精神である“豊かな情操”を育み、「生涯にわたって美しく幸福な生活を送ること」を目指します。

<前年度の授業の様子>



■様々な分野において第一線で活躍する講師陣

桂かい枝 客員教授（落語家）：

1994年上方落語の五代目桂文枝に入門。「世界の人たちにも落語の楽しさを伝えたい」と1997年より古典落語を英訳し、英語による落語公演をスタート。これまでに世界27カ国108都市で300回を超える公演を成功させている。2018年11月、第13回繁昌亭大賞受賞。

その他、各業界分野から講師・ゲストスピーカーの方々を予定しております。

山田夢留氏（新聞記者）、鈴木実氏（狂言師）、宮代勲氏（大阪国際がんセンター・がん対策センター所長）、石山悦子氏（演芸作家）、中西らつ子氏（イラストレーター・漫画家）、米井敬人氏（放送作家）

日程	講義内容	講師
4月12日	落語の『笑い』	桂かい枝 客員教授（落語家） 小森道彦 教授（国際英語学科）
4月19日 4月26日	『笑い』の心理	川上正浩 教授（心理学科）
5月10日	『笑い』を取材する	山田夢留 氏 （毎日新聞記者）
5月17日	『笑い』人をつなぐ	桂かい枝 客員教授（落語家） 小森道彦 教授（国際英語学科）
5月24日	『笑い』と狂言	鈴木実 氏（狂言師）
5月31日	『笑い』と医療	宮代勲 氏 （大阪国際がんセンター・がん対策センター所長）
6月7日	『笑い』を書く仕事	石山悦子 氏（演芸作家）
6月14日	<好きなこと・ものを楽しく紹介する「漫才」 を書いてみる > 1/5回	古川綾子 准教授（国文学科）
6月21日	<好きなこと・ものを楽しく紹介する「漫才」 を書いてみる > 2/5回	小森道彦 教授（国際英語学科） 川上正浩 教授（心理学科） 桂かい枝 客員教授（落語家）
6月28日	落語を描く	中西らつ子先生 （イラストレーター・漫画家）
7月5日	芸人さんと一緒に『笑い』を作る 放送作家 の仕事	米井敬人 氏 （放送作家、漫才作家、落語作家）
7月12日	<好きなこと・ものを楽しく紹介する「漫才」 を書いてみる > 3/5回	小森道彦 教授（国際英語学科） 川上正浩 教授（心理学科） 古川綾子 准教授（国文学科）

◆創作作品の発表

7月19日・26日の授業では、学生が創作した漫才台本を実際に演じてみる発表会形式で披露。桂かい枝客員教授や授業担当教員・参加学生が、さまざまな角度からおもしろさを解説し評価します。

つきましては、ご多忙のところ恐縮ですが、ぜひ取材のご検討をよろしくお願い申し上げます。

<本リリースに関するお問合せ先>

学校法人樟蔭学園 学園広報課 (担当 : 吉田・梶田)

TEL: 06-6723-8152 (直通) (平日 9 時~17 時) FAX:06-6723-8263

E-mail: gakuen-pr@osaka-shoin.ac.jp